

「事業名：営農再開地域における先進的なオーガニック作物生産技術の開発」 2019年度補助事業の実績・成果

東京農工大学 連携市町村：富岡町

連携市町村との協定締結日：2019年1月17日 現地拠点：双葉郡富岡町王塚480農工大事業拠点(2階事業推進室)

事業のポイント

福島県富岡町、浜通りの営農再開地域において、IoT、ロボットを活用した先進的でスマートなオーガニック作物生産技術を開発、農業復興を目指し、現場生産者ニーズに合致した省力作物生産技術を開発、スマートオーガニック農産物生産の産地形成を推進、農業の振興、農業の再開を支援し、農業収入の安定化と所得の拡大、スマート農業の技術開発・普及等人材育成、大学院生の修士論文研究課題として、富岡町での農業復興に関する研究活動を展開、他大学との連携を積極的に推進

今年度の活動実績

- ・研究活動計画・現地検討会を開催(8月18-20日、富岡町、ハタゴイン福島広野)。学生、教員含む大学、富岡町役場、営農再開農家、関係機関、民間企業が多数参加。
- ・IoTによる遠隔地からの育苗灌水、水田水管理、畑点滴灌漑システムの実証研究(現地拠点、4-10月)
- ・水稻の緑肥・有機栽培試験圃場の生育、ドローン成長モニタリング、収量調査(富岡町現地拠点、4-12月)
- ・水稻のオーガニック育苗のための種籾の事前乾燥+温湯消毒技術の現地拠点での実証(4-5月)
- ・農地客土の肥沃化をめざした緑肥作物の栽培、除草ロボットのテスト(富岡町現地拠点5-8月)
- ・福島県酒造メーカー、酒造組合の酒米、オーガニック日本酒マーケティング調査(福島県内外、8-10月)
- ・大学における富岡町営農再開農家によるセミナー(11月)、福島大学、農大シンポジウムで発表(12-1月)
- ・研究活動報告会を開催(1月11-12日、富岡町生涯学習館)。学生、教員含む大学、富岡町役場、営農再開農家、イノベ機構、関係機関、民間企業が多数参加。富岡町、営農者、大学の連携推進協議会に参加(12月)

今年度の成果

- ・営農再開地域の通り農業支援のため、IoTによる遠隔地からの水稻育苗灌水、水田深水管理、畑作物の自動点滴灌漑システムを導入し、実証研究を行った。
- ・農工大で開発した水稻品種「モンスター農工大1号」は低肥沃土壌、有機栽培に適性のある品種であることを明らかにした。また福島県育成の「天のつぶ」の育苗種籾に事前乾燥+温湯消毒法を適用し、その効果を実証した。
- ・先進的オーガニック作物生産技術による食用米品種の高付加価値化、酒米を活用した日本酒醸造など6次産業化に関わる調査、常磐線全線開通に向けた農産物販売・マーケティング調査を実施した。
- ・学生が積極的に現地での研究活動、セミナーに参加し、富岡町農家、他大学等との交流を行った。

